

池田克彦著既刊/警察庁人事課推薦

好評発売中!

心をとらえる100のキー・ストーリー

知恵の話

—ちえのわ—

池田克彦/著

回四六判・美装・256頁 回定価1200円(税込み)(〒290円)

あなたのスピーチを、ひときわ印象深くする秘訣が満載!

読めば目からウロコが落ちる“ちょっといい話”

〈「知恵の話」に寄せて〉より

さる日、ふと手にした「警察公論」に池田総務課長の「相対性理論の話」(本書第二十五話)が載って、この巧みな文章と博識に感嘆しましたら、池田総務課長から岩手県警察本部長時代になされた講話をまとめた冊子を頂戴しました。大変興味深く、一気に読ませて頂きました。警察幹部は部下に講話や訓示をすることが多いのですが、その度に新鮮で適切な内容の話をするには隠された大変な努力があると思います。私など、本来口舌をもって仕事をしている筈ですのに、とてもこんな楽しい話はないと池田総務課長の労作を読んで反省することしきりですが、これは努力に加えてもはや才能の違いでしょうから、降参するしか仕方がありません。

もう一つ、池田総務課長の文章を読んで感じたのは、世の中全てのことに警察が関わっているという実感です。森羅万象古今東西いずれの話題を取り上げても全て警察官の仕事の上の心掛けにつながってくる語り口は何とも見事ですが、これはやはり警察が広く世の中全てのことに関係している故でしょう。巧みな語り口に導かれて引き出される教訓は私も考えさせられることが多く、改めて、この本をヒントにして「知恵」を出す工夫をしてみたいと思います。

国務大臣・国家公安委員会委員長 村井 仁

〈キー・ストーリーのすすめ—はしがきにかえて〉より

「会議などでの話が100%伝達されるなどと考えてはいけません。50%で普通、70%で上出来と思え」と言われたことがある。話がうまく伝わらない理由は千差万別であろうが、基本的には、平板と難解が二大要因ではないかと考えている。

このような弊害を除去するために、皆、いろいろな工夫をされている。私が、最近、よく会議などで試みるのは、「キー・ストーリー」を入れるというやり方である。例えば、「職員の健康管理は大切だ」と言っても、そんなこと誰でもわかっていると聞き手の頭の中を通り過ぎてしまう。先の例でいう平板である。そこで次のような話をする。一寸法師の話

皆さん、昔話の一寸法師はよくご存知でしょう。でも、どうして一寸法師は、僧でもないのに「法師」というのでしょうか。この話の時代設定は平安時代ようですが、この時代、僧でもないのに、僧形をし、法師と呼ばれた職業があります。それは、医者です。一寸法師を医者と考えれば、この物語は、大変理解しやすくなります。一寸法師の刀は針ですが、これは、当然、鍼を表します。鍼で退治される鬼は病気でしょう。だとすれば、打出の小槌は何を表すのか。お気づきのとおり、健康です。幸せをもたらす打出の小槌とは、まさに健康のことなのです。ひとつ、職員の健康に万全の注意を払っていただきたいと思います。



立花書房

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-2

TEL 03-3291-1561(営業部) 03-3291-1566(編集部)

FAX 03-3233-2871

http://tachibanashobo.co.jp

池田克彦著既刊/警察庁人事課推薦

好評発売中!

古今東西の森羅万象を、
縦横無尽に一刀両断!

うんちくコラム〈総集編〉
事情がわかれば世界がみえる

池田克彦/著

■四六判・美装・288頁 ■定価1300円(税込み)(〒290円)

『知恵の話』同様、あなたのスピーチをひととき印象深くする45のキー・ストーリー



本書は、元々は、小論文に資するという目的で書かれたものではありませんが、読み方によっては、そのような活用もできるのではないかと思います。もちろん、「勉強」と堅く考えていただく必要は全くありません。気楽に読みながしていただいて、その上で、何かヒントでも残ることがあれば、それが一番だと思います。

「はじめに」より



立花書房

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-2

TEL 03-3291-1561(営業部) 03-3291-1566(編集部)

FAX 03-3233-2871

<http://tachibanashobo.co.jp>